

第3次一宮市公共交通計画（素案） 市民意見提出制度に寄せられた意見と市の考え方

- 募集期間：令和5年12月1日～令和6年1月4日
- 提出件数：68件（38人）

第3次一宮市公共交通計画（素案）に関する市民意見提出制度において、多くの方から多様なご意見をいただきました。意見の公表にあたっては、必要に応じて要約の上、同様の意見ごとに整理しております。

意見の内訳

区分	件数	項目
ア. 計画全体に関すること	7件	【計画の基本方針】 【結果の検証】 【住民懇談会】
イ. 個別の交通機関等に関すること	19件	【名鉄バス（路線バス）】 【i-バス】 【i-バスミニ】 【バスの最終時刻】
ウ. 地域の問題点に関すること	25件	【地域別の要望】 【その他の要望】
エ. その他	17件	【市内公共交通の共通チケット】 【新たな移動手段導入に向けたルール】 【地域協議会】 【民間施設との連携】 【ライドシェア】 【運行改善のための協賛制度】 【名鉄木曾川堤駅の環境整備】 【名鉄西一宮駅のバリアフリー】 【シェアサイクル】 【バスの利用促進】 【公共施設への公共交通のアクセス性】 【他部署への情報共有】

意見への対応

区分	件数
(1) 既に意見の趣旨が計画（素案）に盛り込まれているもの	51件
○主な意見（カッコ内 意見番号、対象となる計画ページ及び事業番号）	
ア. 計画全体に関すること	
<ul style="list-style-type: none"> ・（意見2、計画P.15）福祉の視点からも実現してほしい。【計画の基本方針】 ・（意見4、計画P.32）計画実行後の結果検証をお願いします。【結果の検証】 	
イ. 個別の交通機関等に関すること	
<ul style="list-style-type: none"> ・（意見5、計画P.21事業①）名鉄バス一宮・川島線の本数を増やしてほしい。【名鉄バス（路線バス）】 ・（意見7、計画P.24事業④）i-バス運行について、各地域の移動の困りごと（計画P.参考5～8）を尊重してください。【i-バス】 ・（意見8、計画P.24事業④）通勤通学の方も乗れる運行時間のバスにするべきではないか。【i-バス】 ・（意見15、計画P.24事業④）一宮西病院まで運行してほしい。等（i-バス大和町・萩原町コース）【i-バス】 ・（意見18、計画P.24事業④）逆まわり運行や木曾川・北方を半分に分けて、2台で運行できないか。（i-バス木曾川・北方コース）【i-バス】 ・（意見19、計画P.24事業④）停留所を町屋に2か所増設してほしい。（i-バス千秋町コース）【i-バス】 ・（意見21、計画P.24事業⑤）商業施設や病院等の目的地を追加してほしい。【i-バスミニ】 ・（意見27、計画P.21事業①）最終電車に合わせた時刻までバスを運行してほしい。【バスの最終時刻】 	
ウ. 地域の問題点に関すること	
<ul style="list-style-type: none"> ・（意見28-38、計画P.24事業④⑤、P.28事業⑫）各地区内外への運行をしてほしい。【地域別の要望】 ・（意見31等、計画P.24事業④⑤、P.28事業⑫）商業施設や病院へ運行をしてほしい。【地域別の要望】 ・（意見39-44、計画P.28事業⑫）環状線や、東西方向の地区をつなぐ路線を運行してほしい。【地域別の要望】 	
エ. その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・（意見45、計画P.27事業⑪）市内公共交通の共通チケットを作してほしい。【市内公共交通の共通チケット】 ・（意見46、計画P.29事業⑬）一宮市指定のドライバー資格などのルールを制定するべき。【新たな移動手段導入に向けたルール】 ・（意見48、計画P.28事業⑫）地域の温度差の解消が困難と考えられる。【地域協議会】 ・（意見50、計画P.28事業⑫）福祉施設の送迎バスの活用について、地域で話し合う場が必要ではないか。【民間施設との連携】 ・（意見51、計画P.29事業⑬）地域の移動手段にライドシェアに関する記述がないのはなぜか。【ライドシェア】 	

区分	件数
(2) 今後の取り組みや施策の推進等において参考にするもの	17件
○主な意見（カッコ内 意見番号）	
ア. 計画全体に関すること	
<ul style="list-style-type: none"> ・（意見53）住民懇談会について、計画素案の説明会をしてほしい。【住民懇談会】 ・（意見54）一宮市全体の公共交通のあり方については、話し合う時間がなかった。【住民懇談会】 	
イ. 個別の交通機関等に関すること	
<ul style="list-style-type: none"> ・（意見55）バス停の縁石の段差がバス乗り降りの際に不便なので、縁石を切り下げてほしい。【名鉄バス（路線バス）】 ・（意見56）停留所に屋根をつけてほしい。【名鉄バス（路線バス）】 	
ウ. 地域の問題点に関すること	
<ul style="list-style-type: none"> ・（意見58）岐阜羽島駅～起地区～一宮駅～岩倉駅の東西軸に、モノレールや新交通システムなど、軌道交通を検討しても良いのではないかと。【その他の要望】 	
エ. その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・（意見59）協賛制度の認識度が低い。停留所やベンチ等に企業広告を募集したらどうか。【運行改善のための協賛制度】 ・（意見60）名鉄木曾川堤駅の環境を整備してほしい。【名鉄木曾川堤駅の環境整備】 ・（意見61）名鉄西一宮駅のバリアフリー化をしてほしい。【名鉄西一宮駅のバリアフリー】 ・（意見62）一宮市を訪れる人向けにシェアサイクルやレンタサイクルを整備した方が良い。【シェアサイクル】 ・（意見63）駅周辺を利用する場合、バスがあれば年配の方なども安く利用できる。【バスの利用促進】 ・（意見64）人の集まる施設が駅の近くならば、誰もが行きやすくなる。【公共施設への公共交通のアクセス性】 ・（意見66）一宮駅以北の駅周辺で区画整理事業を行い、バスの発着場を整備し、利便性を高めてほしい。【他部署への情報共有】 	

(1) 既に意見の趣旨が計画(素案)に盛り込まれているもの

ア. 計画全体に関すること

番号	意見の要旨	市の考え方
【計画の基本方針】		
1	『福祉の視点』からも公共交通の充実が切実な課題となっています。などの文言を加筆してほしい。	公共交通の充実に関しましては、福祉の視点に限らず、誰もがクルマがなくても快適に暮らすために必要であり、切実な課題と認識しております。「クルマがなくても出かけやすいまち」と感じていただけるよう、事業を進めてまいります。
2	こういう町であってほしい。福祉の視点からも実現してほしい。	
3	素晴らしい基本方針だと思う。	
【結果の検証】		
4	計画実行後の結果検証をお願いします。	計画の評価・検証(P.32、33)に基づき、目標の達成状況の評価や各事業、バスの系統別の評価を行ってまいります。

イ. 個別の交通機関等に関すること

番号	意見の要旨	市の考え方
【名鉄バス(路線バス)】		
5	一宮・川島線の本数を増やしてほしい。	事業①として、望ましいサービスの維持に努めます。民間事業による望ましいサービスの維持が困難な場合は、市が支援等を検討し交通事業者との協議を行い維持に努めます。
【i-バス】		
6	市の施設循環のみではなく、商業施設や病院などをコースに入れ、名称もふれあいなどで統一してはどうか。	事業④として、i-バスの見直しについて、地域のニーズに対応したダイヤやルートの変更を適宜行い、i-バスの利便性向上を図ります。
7	生活交通として一宮市民の多くの人が恩恵を受けられるように、各地域の移動の困りごと(計画P.参考-5~8)を尊重してください。	
8	高齢者用のバスではなく通勤通学の方も乗れる運行時間の普通のバスにするべきではないか。	
9	一地域を回るi-バスをつくってください。アンケート(回覧板で、庁舎に設置など)を取り、回る場所を決定してほしい。	事業④として、i-バスの見直しについて、市が運行するコミュニティバスとして利便性を高めるとともに、i-バスの運賃見直しを検討します。今後の取り組みの参考とさせていただきます。
10	運賃が200円になり、あまり乗車していないのをよく見かけます。100円の時は、高齢者の方がよく利用されていたので、i-バスの運賃を100円に戻してはどうか。	
11	名古屋市同様バス路線は市内一律200円程度として一定額を超える料金は一宮市が運営業者へ補助する。利用者が増加すれば実現可能だと思う。	
12	受益者負担という考え方は間違った考え方ではないか。移動の権利を確保するのが自治体や国の責任ではないか。そのうえで料金は算定すべきだと思う。i-バスはすべて100円とし、利用者を増やすための計画を立てることを検討してほしい。	
13	運賃の見直しにおいては、高くなれば利用者が減ると考えます。利便性を高め(運行回数増、ルート増設など)、運賃は市からの補助で利用者を増やし、町の活性化にもつながる持続可能な交通を考えてください。	
14	アピタ稲沢店まで運行してほしい。(大和町・萩原町コース)	
15	一宮西病院まで運行してほしい。(大和町・萩原町コース)	
16	萩原町出張所まで運行してほしい。(大和町・萩原町コース)	
17	1時間に1本あるので助かっている。(大和町・萩原町コース)	
18	行き「狐塚」を使用して、木曾川病院に行くのと、帰りがぐるっと一周し、1時間程かかり不便です。逆まわりで運行したり、木曾川・北方を半分に分けて、2台で運行できないか。(木曾川・北方コース)	
19	停留所を町屋に2か所(新しいみ団地内と町屋公民館前)に増設してほしい。(千秋町コース)	事業④として、i-バスの見直しについて、地域のニーズに対応したダイヤやルートの変更を適宜行い、i-バスの利便性向上を図ります。事業⑩として、地域協議会主体による新たな移動手段の導入について、地域住民や地元民間企業等が主体となって地域内交通の改善や活性化に向けて取り組む組織(地域協議会)の立ち上げを支援します。
20	千秋町内の人で名鉄大山線の布袋駅、石仏駅、岩倉駅を利用する人がたくさんいます。その人たちの利便性を考えると、この3つの駅のどこかに行くように運行することはできないか。(千秋町コース)	
【i-バスミニ】		
21	商業施設や病院等の目的地を追加してほしい。	事業⑤として、i-バスミニの見直しについて、日常生活に必要な商業施設や診療所等、最寄りの鉄道駅やバス停以外の目的地を追加し、高齢者等の外出を支援します。事業⑩として、地域協議会主体による新たな移動手段の導入について、地域住民や地元民間企業等が主体となって地域内交通の改善や活性化に向けて取り組む組織(地域協議会)の立ち上げを支援します。
22	現在の制度(停留所から停留所)だと利用されない。利用されている方多くは、高齢者であるため、制度を変更して戸口から乗せてもらえるようにしてほしい。	
23	ドアtoドアにしてほしい。すぐにできないのなら、まず通院者、庁舎利用者を優先して実施してほしい。	
24	起地域などバスが走っていない地域や、公共交通網にアクセスするのに1Km以上の距離がある地域などもあり、それらの解消をどうしていくのか。地域協議会による移動手段で考えているのか。	
25	停留所は、地域毎に要望を聞いて決定してください。また、PRを老人会、町内にてください。	

番号	意見の要旨	市の考え方
【バスの最終時刻】		
26	名鉄バス・i-バス共に最終時刻が早い時刻に終了してしまう。	事業①として、望ましいサービスの維持に努めます。民間事業による望ましいサービスの維持が困難な場合は、市が支援等を検討し交通事業者との協議を行い維持に努めます。
27	名古屋などに仕事に行っている人もバスで帰宅できるよう最終電車で合わせた時刻まで運用してほしい。	

ウ. 地域の問題点に関すること

番号	意見の要旨	市の考え方
【地域別の要望】		
28	【萩原町】 i-バス大和町・萩原町コース（ニコニコふれあいバス）以外に萩原・朝宮・大和方面を走るバスを運行してほしい。	事業④として、i-バスの見直しについて、地域のニーズに対応したダイヤやルートの変更を適宜行い、i-バスの利便性向上を図ります。
29	【萩原町】 萩原町朝宮を通過する北廻り循環バスを運行してほしい。	事業⑤として、i-バスミニの見直しについて、日常生活に必要となる商業施設や診療所等、最寄りの鉄道駅やバス停以外の目的地を追加し、高齢者等の外出を支援します。
30	【萩原町】 アピタ稲沢店まで循環バスを通してほしい。	事業⑥として、地域協議会主体による新たな移動手段の導入について、地域住民や地元民間企業等が主体となって地域内交通の改善や活性化に向けて取り組む組織（地域協議会）の立ち上げを支援します。
31	【浅井町】 浅井町は市中心部からも遠く、車を運転しない人には大変不便な地域です。名鉄バス路線から離れた地域も多くあり、家から公共交通機関、病院、スーパーなどへの足を確保してほしい。	今後の取り組みの参考とさせていただきます。
32	【浅井町】 瀬部や江南方面（江南厚生病院等）のバスを運行してほしい。	
33	【浅井町】 浅井町には地域循環バスが運行しておらず、名鉄バス路線から外れた地域の方（特に高齢者や車に乗れない方）は不便で困っているので、縫製団地、西部幹線、桜の里、黒岩方面を通るバスを運行してほしい。	
34	【浅井町】 西部幹線にバスを運行してほしい。	
35	【浅井町】 浅井町から木曽川病院、木曽川地区の大型商業施設にバスを運行してほしい。	
36	【千秋町】 名鉄バスの停留所の「かぶら池」から新しいび団地（千秋町屋地内）の中にバス停を1か所増やしていただけないですか。	
37	【丹陽町】 伝法寺には公共交通機関が無いので、自転車で通える範囲の学校しか選べない。毎日の送迎は厳しいので、西春駅、岩倉駅などにバスを通して欲しいです。	
38	【市南部】 バス路線を維持するには定期利用者数が重要であると思うが、現状の路線状況では特に市南部に於いて、通勤や通学などに使いづらいように感じる。そのため、工業団地などにシャトル便を走らせるなどの予定はないのか。	
39	【環状線】 現在の一宮の公共交通は、一宮駅を中心に放射線状に走っているため、例えば西成から木曽川へ行こうとすると、一宮駅経由しなければ行けないため、市の東西をつなぐ路線を作ってほしい。	
40	【環状線】 放射線の路線だけでなく環状線もつくってください。一路線ではなく、2～3地域を通る路線を一路線として隣りの路線と時間を合わせると一回りできるのでは。	
41	【環状線】 環状線として一周するのか、その円を4分割して、例えば、地域文化広場からイオンモール木曽川、地域文化広場から丹陽町などをつなぐといった地域割りでその間をピストン輸送するといった方法でもいいので、周回をつないで、遠回りをしなくてもいいようにしてほしい。	
42	【環状線】 幹線をつなぐ環状線の 신설で例えば、西成支所から千秋病院、丹陽町などのコースが市民の要望です。	
43	【東西方向の移動】 一宮市の北の道路で浅井町より光明寺～木曽川町までのバスを運行してほしい。	
44	【東西方向の移動】 浅井町からイオンモール木曽川に行くバス路線とアピタ江南西店に行く線を運行してほしい。	

エ. その他

番号	意見の要旨	市の考え方
【市内公共交通の共通チケット】		
45	名鉄からふれあいバスに乗り継ぐときに一枚のきっぷで行けるようにしてほしい。	事業⑩として、MaaSアプリ等の情報技術の活用について、市内の公共交通（鉄道、バス等）をシームレスに利用できる市内交通の共通チケットの検討を進めます。
【新たな移動手段導入に向けたルール】		
46	新たな移動手段導入に向けたルールづくりはこれからですが、介護サービス（乗車）や民間の自家用車に他人を乗車させる場合も二種免許の所持者が運転する（旅客運送を伴わなくても）や一宮市の指定ドライバー資格などを制定するべきだと思います。	新たな移動手段の継続運行には、担い手が必要ですので、実情を踏まえたルールを作成してまいります。 ルールについては、市で案を作成し市民の代表をはじめ、交通事業者や学識経験者などから組織する一宮市地域公共交通会議において協議します。
47	利用状況等による一定のルールを作成するのは、誰が作成するのですか。作成者に市民からの公募枠を作ってください。	
【地域協議会】		
48	地域協議会のメンバーの決定、活動内容などが不透明です。町内・地域に任せられた地域協議会のあり方では、地域によっては村意識が強く、地域の温度差の解消が困難と考えられる。市として、多方面から意見が出せる仕組み作りを検討してください。また、活動記録等を市でも閲覧できるようにしてください。地域協議会の取り組みは評価できるが、協議会の取り組みに温度差の解消について、まちづくり部地域交通課は、どのように指導されているか、教えてください。一宮市全域の公共交通網の検討には、まちづくり部地域交通課のリーダーシップが必要です。地域協議会、各種団体の要望を聞き、よりよい公共交通の整備を望みます。	事業⑪として、地域協議会主体による新たな移動手段の導入について、地域住民や地元民間企業等が主体となって地域内交通の改善や活性化に向けて取り組む組織（地域協議会）の立ち上げを支援します。 今後の取り組みの参考とさせていただきます。
49	地域協議会の構成には、車を持たない住民を1人以上参加してほしい。	
【民間施設との連携】		
50	特養ホームが使っている送迎バスを買い物バスとして活用することについて、地域で話し合う場を設けていくことが必要ではないか。	事業⑫として、地域協議会主体による新たな移動手段の導入について、民間企業の保有車両や既存タクシーを活用した買物支援や通院支援については、高齢者の外出機会の創出につながり、健康増進にも寄与することが想定されます。そのため、地域の皆さまと議論しながら、高齢者等の外出支援の拡充を図ります。
【ライドシェア】		
51	地域の移動手段にライドシェアに関する記述がないのはなぜか。	事業⑬として、ドライバー確保に向けた取り組みについて、「i-バスミニ」を運行する地域限定ドライバーに市民の方を採用する等、法令の動向を見極めながら、交通事業者とドライバーの確保に向けた取り組みを進めます。

(2) 今後の取り組みや施策の推進等において参考にするもの

ア. 計画全体に関すること

番号	意見の要旨	市の考え方
【住民懇談会】		
52	連区における公共交通に関する懇談会で、第1次～2次計画の結果検証の報告が欲しかった。参加者が公共交通の運営状況を把握していたのか疑問に思った。市側への「こうして欲しい」の要求だけで、地域住民として協働できる課題の掘り下げを提起出来る懇談会を期待していた。	本計画に関する説明依頼は、随時受け付けております。 住民懇談会の年齢層や職業などについては、全てを把握しておりません。 今後の取り組みの参考とさせていただきます。
53	公共交通の充実改善を求めて、市民の声を求めるならば、素案の内容説明会を開いて頂きたいです。	
54	昨年実施された住民懇談会は評価できますが、生活地域に限定した買い物、通院、通勤などの実態と改善内容の調査におわり、一宮市全体の公共交通のあり方については、話し合う時間が持たれませんでした。また、参加者も、車で移動できる元気な高齢者が大半で、弱者の代弁者と見られる町内の役員においても、十分に把握されていないようでした。 住民懇談会の参加人数と併せて、年齢層、職業なども記載してください。	

イ. 個別の交通機関等に関すること

番号	意見の要旨	市の考え方
【名鉄バス（路線バス）】		
55	大野バス停の縁石の段差をバス乗り降りの際に不便なので、縁石を切り下げしてほしい。	関係機関と情報共有を行い、今後の取り組みの参考とさせていただきます。
56	停留所に屋根をつけてほしい。	
57	一宮・宮田線を江南厚生病院まで路線を延長してほしい。	

ウ. 地域の問題点に関すること

番号	意見の要旨	市の考え方
【その他の要望】		
58	現状2024年問題が出ているほか、リニア中央新幹線開通後は岐阜羽島駅に停車する新幹線の本数も増加することが見込まれるため、特に岐阜羽島駅～起地区～一宮駅～岩倉駅の東西軸はモノレールや新交通システムなど、軌道交通を検討しても良いのではないかと。	今後の取り組みの参考とさせていただきます。

エ. その他

番号	意見の要旨	市の考え方
【運行改善のための協賛制度】		
59	一宮市民の認識度は低い。停留所時刻表板やベンチ、上屋、そしてバス車体に企業広告を募集されたらどうか。 一宮市の指名参加登録事業者（市外も可能）等活用されたいかがでしょうか。	今後の取り組みの参考とさせていただきます。
【名鉄木曾川堤駅的环境整備】		
60	北方町の北部には、名鉄木曾川堤駅があり、JR木曾川駅に行くより、はるかに近いので、学生や通勤の方が利用されています。しかし駅の東側は人家もない堤防端で寂しいところです。日が暮れば、暗くて防犯上も怖いので、特に女性は木曾川堤駅を利用しにくいのです。自転車置き場は、屋根もないので、雨具の脱ぎ着に困る状態です。夜の迎えや雨天の場合は車で駅まで行くのですが、駅前ロータリーもないので狭くてUターンをするしかないのです。名鉄木曾川堤駅は10年程前に自動改札機も導入され ホーム以外の駅舎も新しくなっていますが、上記のとおり、周りの環境が悪くバスも通っていないので、もっと利用できるはずの駅が利用できていない状態です。このままこの駅を利用する人が少ないと駅自体が廃止されかねません。この駅を活かした公共交通を考えてほしい。	今後の取り組みの参考とさせていただきます。
【名鉄西一宮駅のバリアフリー】		
61	名鉄の西一宮駅が高架駅で、階段5 6段上がらなるとホームに行けない。西一宮駅をバリアフリーにしてほしい。	関係機関と情報共有を行います。
【シェアサイクル】		
62	市域は平坦な土地であるため、自転車利用に適した場所であると思うので、一宮市に訪れる人向けにシェアサイクルやレンタサイクルを整備した方が良いと思う。	現在、一宮駅周辺では、一宮駅南第2・北第1自転車駐車でレンタサイクルを実施しております。
【バスの利用促進】		
63	駅周辺の繁華街などを利用する場合、バスがあれば年配の方なども安く利用できるため人出が期待できる。	外出する際の移動手段として、バスを選んでもらえるように利便性の向上を図っていきます。
【公共施設への公共交通のアクセス性】		
64	一宮市民会館・尾西市民会館は、駐車場確保の為、一宮市郊外にあり 他の地域から車を使わずに行くのは大変です。人の集まる会館などの施設が電車の駅の近くにあったら子どもたちも高齢者も誰もが行きやすいのではないのでしょうか。	既存の公共施設を鉄道駅周辺へ移設することは困難ですが、公共施設を利用していただく際に、バスをはじめとする公共交通で来場いただきやすい環境になるよう努めてまいります。
【他部署への情報共有】		
65	県内30万以上の市で区画整理事業の実施地域が少ないので、右折車線が少ないと思う交差点付近50m程度だけでも拡幅して右折車線を整備すべきである。	関係機関と情報共有を行います。
66	一宮駅以北の駅周辺は区画整理を行い、バス路線の発着場の整備を行い一宮駅以外の利便性を促進して欲しい。	
67	歩行者や自転車にとって安全で安心して利用しやすいインフラ整備をして欲しい。 舗装がつきはぎだらけで段差や沈下したり、耐用年数や償却期間が過ぎた様な状態で凸凹したところが多く、自転車や、徒歩で快適に通行しづらい。交差点の隅切りが少ないので危険。道路のラインや通学路は一度施工したら薄くなったり、消えてもそのまま。街路樹や雑草は要望を言わないと選定しない。道路の見回りパトロールや清掃・維持管理基準を見直すべきである。	
68	一宮市は県内他の市町村に比べ古くから発展していたので道路網は半世紀前に整備してそのままの様に感じる。その道路交通の悪さを避けるため何もかも名岐バイパスにクルマが集中していると思う。名草線、旧国道の拡幅、155号バイパスの名岐バイパス以西ルート整備、名神高速道路同様に岐阜市を、經由せず大垣方面(国道21号)とを繋ぐ幹線道路の整備、名岐道路の岐阜県内ルートを含めた同時開通の実現に対する働きかけ。155バイパスの全線開通時に尾張地区を結ぶ鉄道を整備して、尾張地区間更にはその先の地域との移動を簡便にして欲しい。市民にとって就業、就学、施設利用機会の増加すれば一宮市単独で箱モノ整備をする必要もなくなるし、同様のことを周辺、沿線市町も同様の事を願っていると思う。	